

1ch FFTに1/3オクターブ解析を追加する手順書

Ver.1



1

本手順書の内容

1. Repolyzer(XN-8100)の起動
2. ORFファイルの選択
3. コンフィグボード(解析条件)の設定
 1. 校正
 2. 周波数レンジ設定
 3. 周波数分解能(ライン数)の設定
 4. 平均化の設定
4. グラフ表示
5. ツールパレット表示
 1. 波形ビューア(オプション XN-0850)
 2. ステータスマニタ
6. 計測
7. プロジェクトの保存

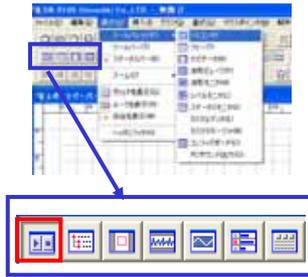


2

1. Repolyzer(XN-8100)の起動及びリモコンパレット表示



デスクトップ上の左のアイコンをダブルクリックして、Repolyzer (XN-8100)を起動してください。



リモコンパレットツールボタン

リモコンパレット(下図)の表示

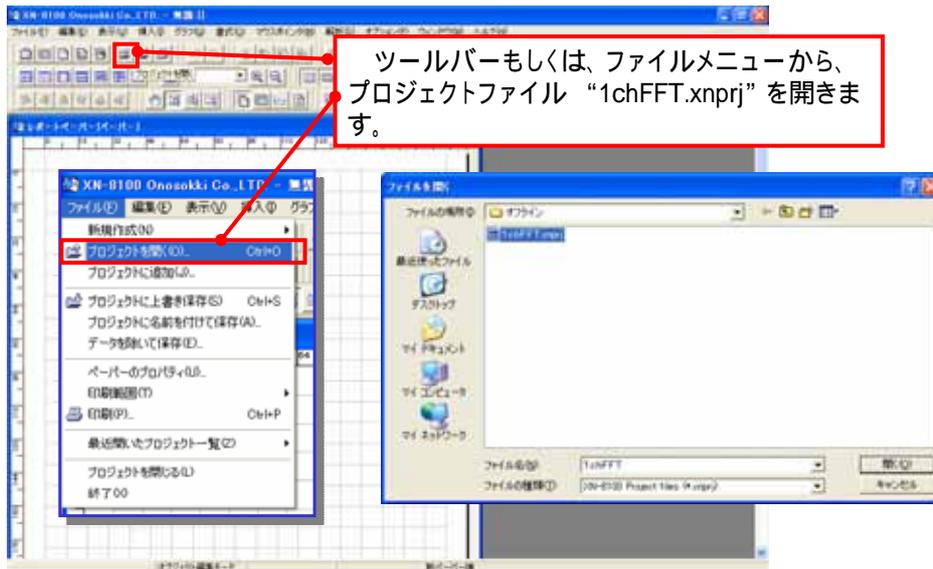
左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。



リモコンパレット



2. 1chプロジェクトを開く



ツールバーもしくは、ファイルメニューから、プロジェクトファイル “1chFFT.xnprj” を開きます。



2.1chプロジェクトを開く : プロジェクトの確認

このような画面になったでしょうか？

Repolyzer

5

2.1chプロジェクトを開く : ORFファイルの選択

リモコンパレット

リモコンパレットの FileReadボタンを押す

FileReadボタンの右側の細ボタンを押して、ファイル選択ダイアログを開く

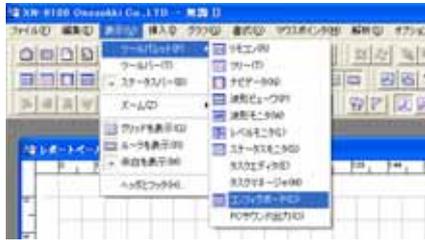
“マルチアプリデモ信号.ORF”を選択する。

注: “Repolyzerサンプルデータ”フォルダは、RepolyzerインストールCDから、Repolyzerをお使いになるPCにコピーしておいて下さい。

Repolyzer

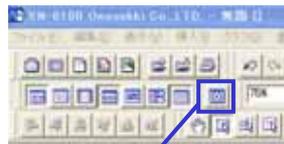
6

3. コンフィグボード(解析条件)の設定

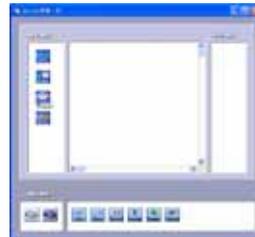


コンフィグボードとチャンネルパレット
(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタ
ンで、表示できます。



コンフィグボードツールボタン



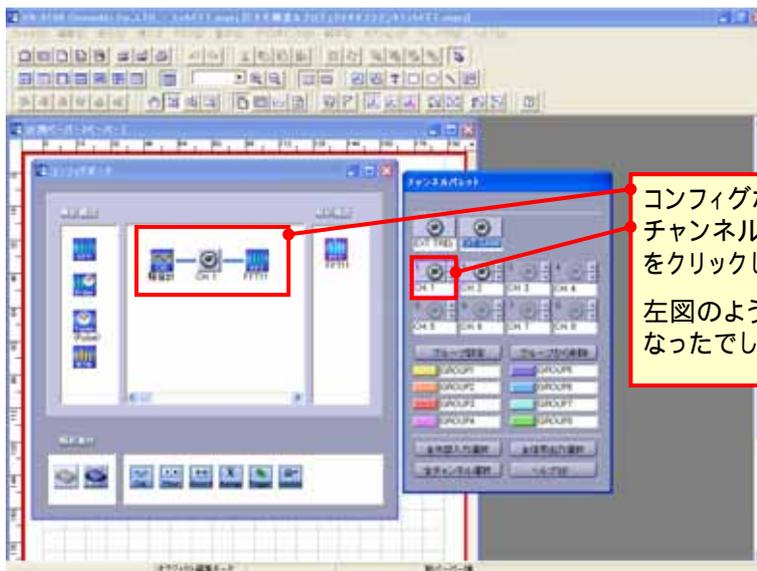
コンフィグボード



チャンネルパレット



3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 設定の確認



コンフィグボードを開いて、
チャンネルパレットの“CH.1”
をクリックしてください。
左図のようなツリー表示に
なったでしょうか？



3. コンフィグボード(解析条件)の設定

2つめの解析機能として、1/3オクターブ解析を追加します。RTAアイコンをコンフィグボードの中央部にドラッグします。

9

3. コンフィグボード(解析条件)の設定

設定ダイアログが開きます。

OKをクリックします。

10

3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :チャンネルを追加

このように表示になったでしょうか？

これで、チャンネル1にFFTと1/3オクターブ解析が割り付けられました。

コンフィグボードを閉じてください。

11

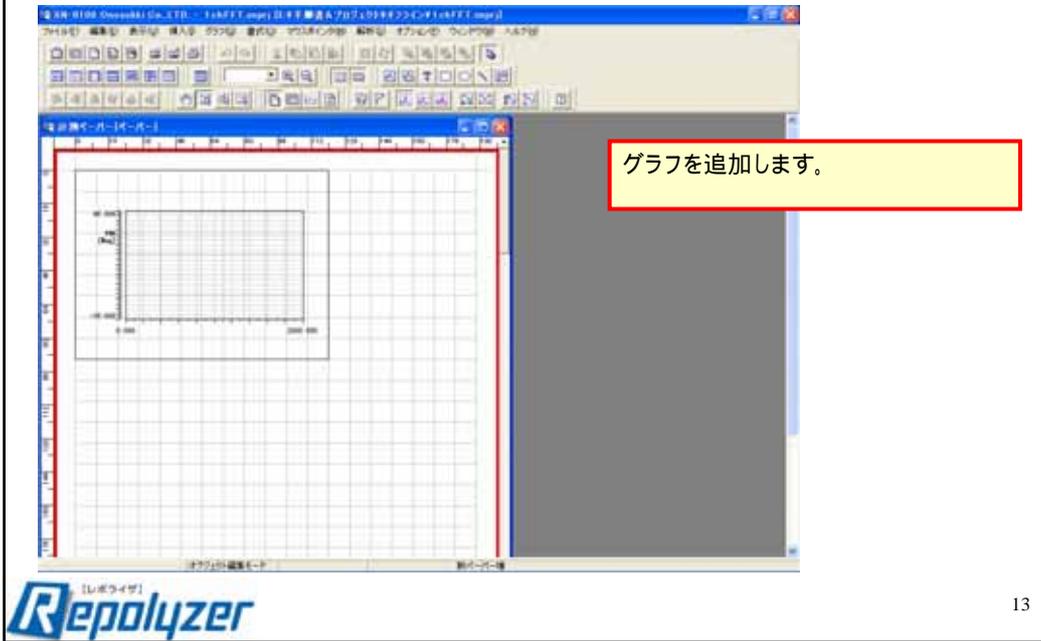
3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :解析機能の確認

FFT解析機能の設定は、
周波数レンジ: 20kHz(51.2kHz)
周波数分解能: 50Hz(400Lines)
になっているでしょうか？

オクターブ(RTA)解析機能の設定は、
バンド幅: 1/3
時定数: FAST(125ms)
になっているでしょうか？

12

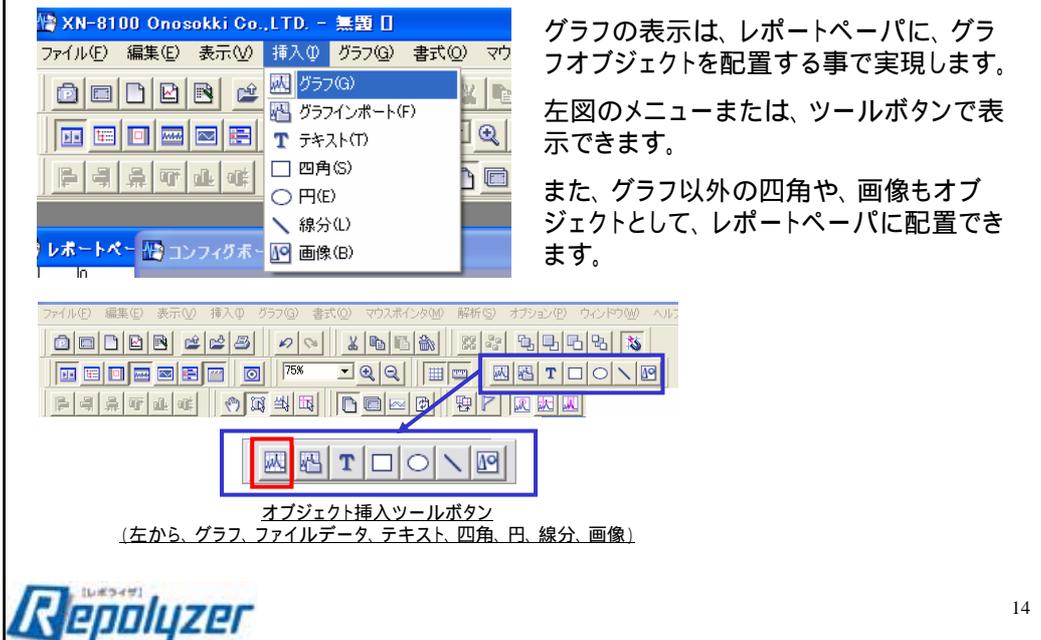
4. グラフ表示



グラフを追加します。

Repolyzer

4. グラフ表示



グラフの表示は、レポートペーパーに、グラフオブジェクトを配置する事で実現します。

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

また、グラフ以外の四角や、画像もオブジェクトとして、レポートペーパーに配置できます。

オブジェクト挿入ツールボタン
 (左から、グラフ、ファイルデータ、テキスト、四角、円、線分、画像)

Repolyzer

4. グラフ表示

グラフアイコン

をクリックして、ペーパー上でグラフの大きさ(範囲)をドラッグで指定してください。

このダイアログが表示されるので、次のページの様に設定。

Repolyzer

15

4. グラフ表示

解析機能名で、“12:RTA12”を選びます。

波形の種類は、**オクターブ(RTA)**
瞬時値を選択します。

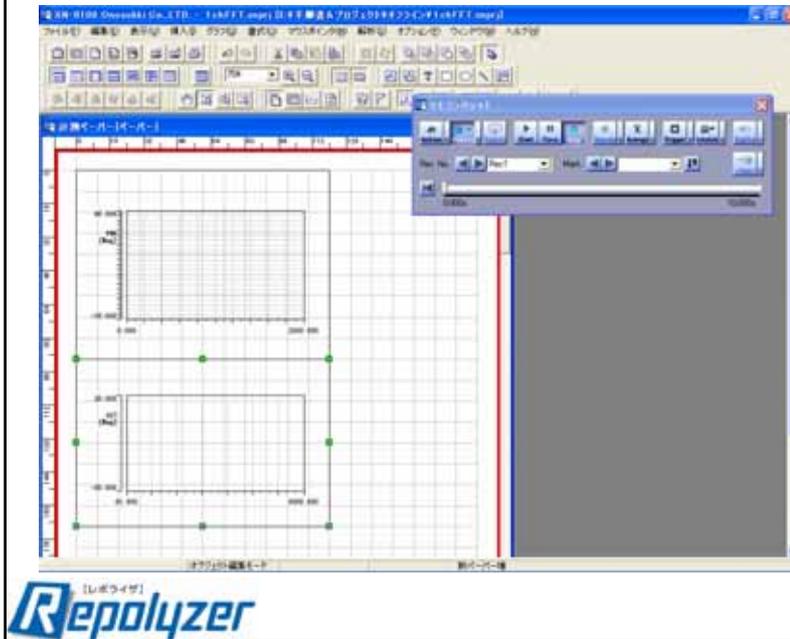
グラフの種類は、デフォルト(折れ線)とします。

OKボタンをクリックします。

Repolyzer

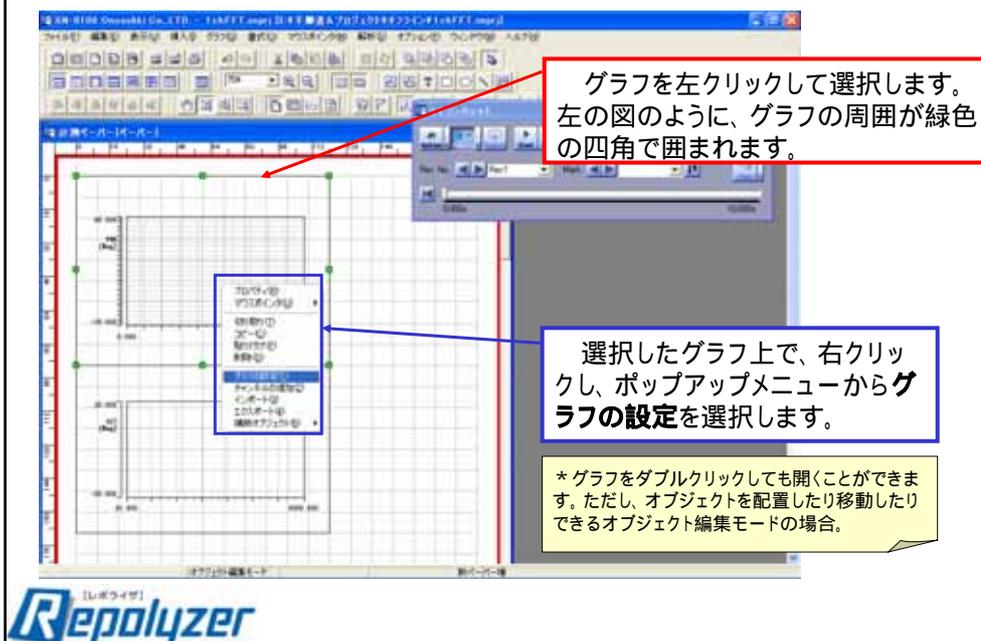
16

4. グラフ表示



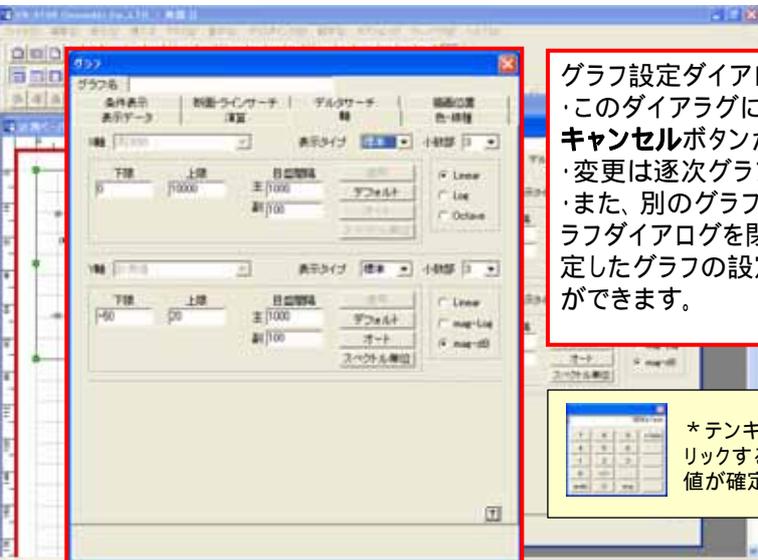
17

4. グラフ表示



18

4. グラフ表示



グラフ設定ダイアログ

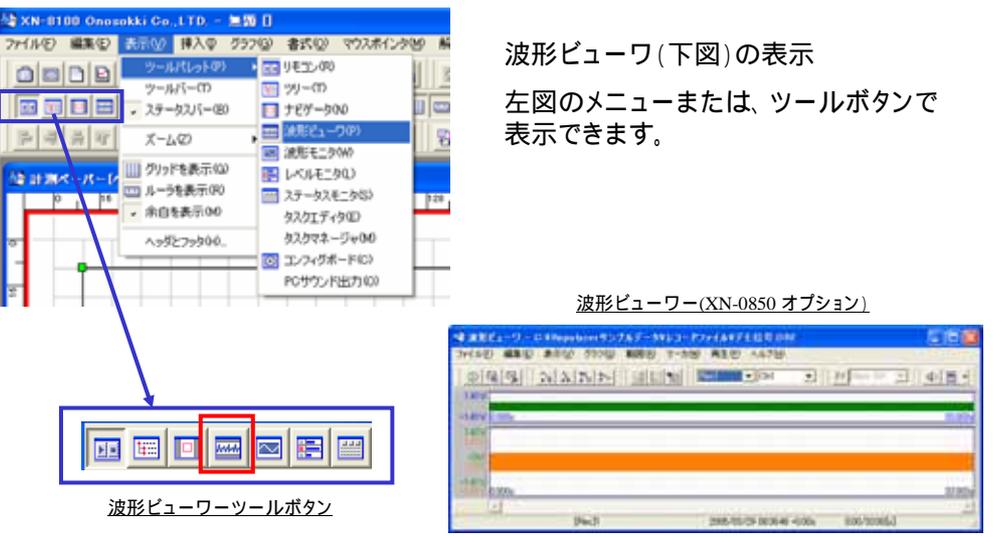
- ・このダイアログには、OKおよび**キャンセル**ボタンがありません。
- ・変更は逐次グラフに反映されます。
- ・また、別のグラフを選択すると、グラフダイアログを閉じることなく、指定したグラフの設定を変更することができます。

*テンキーは、別の項目をクリックするか、適用ボタンで数値が確定します。



19

5. ツールパレット表示 (波形ビューワ)



波形ビューワ (下図) の表示

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

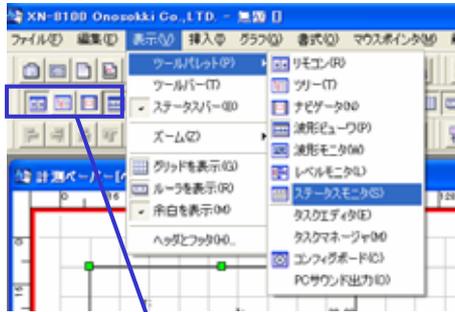
波形ビューワツールボタン

波形ビューワ(XN-0850 オプション)



20

5. ツールパレット表示 (ステータスマニタ)



ステータスマニタツールボタン

ステータスマニタ(下図)の表示
左図のメニューまたは、ツールボタンで
表示できます。



ステータスマニタ



6. 計測

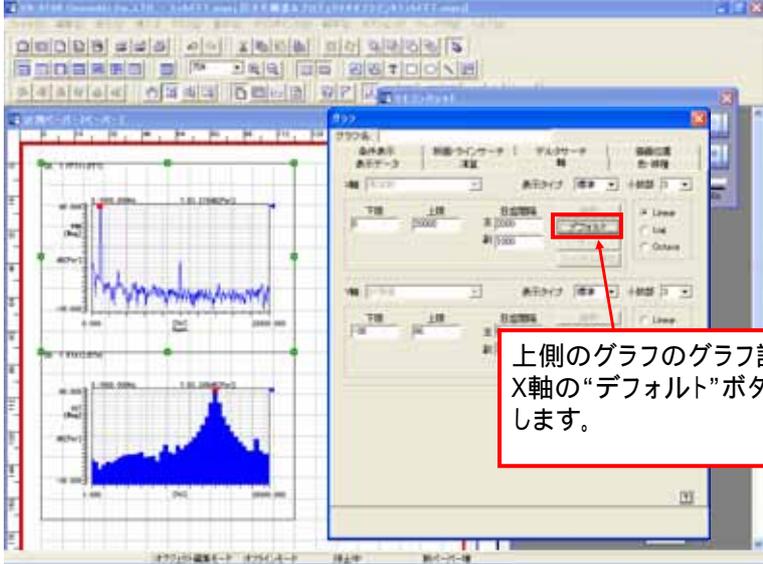


Startボタンを押して計測を
開始します。

Stopボタンで計測を終了し
ます。
左の図は、計測終了後の画
面です。計測結果のペー
パーが追加されています。



6. 計測: グラフの表示変更

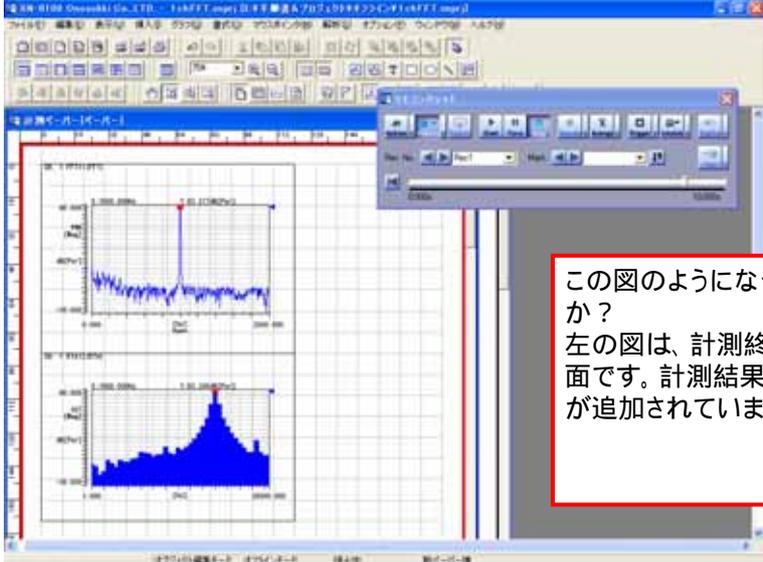


上側のグラフのグラフ設定画面で、X軸の“デフォルト”ボタンをクリックします。

Repolyzer

23

6. 計測

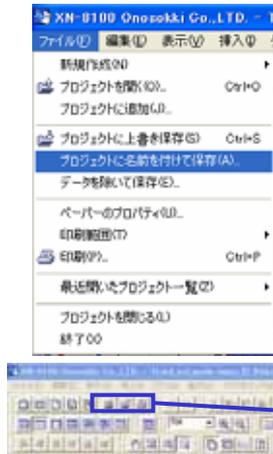


この図のようになったでしょうか？
左の図は、計測終了後の画面です。計測結果のペーパーが追加されています。

Repolyzer

24

7. プロジェクトへの保存



測定条件、レポートペーパーレイアウト、データを一括してプロジェクト(*.xnprj)に保存が可能です。

左図のメニューまたは、下図ツールボタンでプロジェクトの保存できます。



プロジェクト保存
ツールボタン